



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2013年10月のロータリーレートは1ドル=100円

パストガバナーからの手紙 154回 炭谷 亮一

ブラジル（リオ）オリンピック開催危し！！

2020年のオリンピック開催地に東京が決定した。対抗国として下馬評ではマドリッドが手強いと思われていたが、第1ラウンドで早々に敗退した。理由は、はっきりしている。経済的に不安定なところにオリンピックは任せられないとのIOCの強い意志決定に他ならない。

実際に2016年のブラジル・リオデジャネイロのオリンピック開催は経済不況から開催が危ぶまれている。国際オリンピック委員会（IOC）はIMFと連絡を取り合っており、逐一、開催予定地のブラジルの経済情報を入手しており、次第に悪化して行くブラジル経済に肝を冷やしているのが現状だ。IOCとしては、開催中止に追い込まれることは何んとしても避けたい、中止となればオリンピックそのものの存続が危ぶまれ、IOC委員達のメシの種が消滅してしまう恐れすらある。国際オリンピック委員会は世界中に収支報告する義務もなく、課税もされない。少し言葉は悪いが伏魔殿の様な存在である。

ブラジルの経済悪化の大きな原因は、アメリカのシェール革命である。資源大国であるロシアとブラジルは、資源価格が高止まりしているのにあぐらをかいて、新たな経済の担い手となる製造業（テクノロジーの研究・開発を怠って）の育成をおろそかにした結果、資源価格の下落により甚大なダメージを受ける結果となった。

ブラジル経済の現状は、インフレと昨今の資源安により「借金依存経済」が回らなくなって来ている。もともとブラジルは先進国のブラジルへの資源投資で潤ってきた国である。資源高が続かなければ經常赤字に

クラブ例会（木）等予定 2013-2014年度	
10/3	例会休会 → 金沢北RC創立40周年記念例会
10/10	中里茂（いしかわ省エネ・節電アドバイザー）
10/17	ムジカー100プレゼンテーションコンサート 前夜祭 サクソフォン 筒井裕朗・ピアノ伴奏 堺洋子
10/24	稲山訓央会員
10/31	久野薫（久野病院会長）（会場変更 土家）
11/7	西村元一（金沢赤十字病院副院長）
11/14	楊立山（米山奨学生）

2013～14 理事・役員 委員会 ★太字：理事役員

（役員） 会長：野城勲 エルト：宮永満祐美 副会長：若狭豊 副会長：魏賢任 幹事：上杉輝子 副幹事：井口千夏
会計：東海林也令子 SAA：武藤清秀 直前会長 北山吉明

（理事） クラブ管理運営委員長：西村邦雄 副：二木秀樹 親睦：○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満 井口千夏 宍戸紀文 プログラム：○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA：○武藤清秀 大路孝之 川きみよ ニコニコ：○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則：○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智
直前委員長：○村田祐一

奉仕プロジェクト委員長：木場紀子 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 竹田敬一郎 木村幸生 社会：○谷伊津子 稲山訓央 辰己クミ 大沼俊昭 国際：○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子

喫煙問題：村田祐一 会員組織委員長：金沂秀 副：辰己クミ 会員増強修練：○藤間勘菊 石丸幹夫 炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 **ロータリー財団委員長：藤間勘菊** 副：永原源八郎 **ロータリー財団・米山寄付**：○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付：野城勲 **広報委員会委員長：村田祐一** 副：江守道子 広報：○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 **ロータリー情報**：○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報ホームページ：○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 **常任理事：石丸幹夫 吉田昭生**

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間 京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19：00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241（事務局）村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9：00～15：00 休憩時間 12：00～13：00 木 15：00～20：00

休日（土日祝日） 幹事 上杉輝子

陥る体質なのだ。今後、頼みの鉄鉱石価格（世界的に鉄はだぶついて来ている）が大きく下落するなら、経済運営が立ち行かなくなり、デフォルトの危険すらある。又、借金依存経済だけに、バブル崩壊時に巨額の不良債権が発生するのは回避出来ない。「ブラジル版サブプライム問題」が生じる。IMF は認識しているが、日本では遠い国のこととして余り報道されていない。しかし、新幹線計画は経済悪化により断念したとの報道は確かにあった。

2000 年以降、原油を中心にあらゆるエネルギー価格、それに波及して鉱物資源価格が上がった。エネルギー価格が上がれば当然、食料品価格もツレ高になり、そうした資源高の恩恵を圧倒的に受けて来たのがブラジルであった。海外からの投資資金を引き寄せる一方、金融機関の積極融資により内需が活発化し、2004 年～ 2010 年の成長率は年 5 % 超に達していた。資源特に頼みの鉄鉱石の価格下落でブラジルの貿易収支は悪化し、2013 年前半の貿易収支は前年同期の 70 億ドルの黒字から一転して、30 億ドルの赤字へと転落した。経済成長率はマイナスになる恐れさえでて来た。資源価格の下落ペースにブラジルの運命は握られていると言っても過言ではない。2014 年ブラジル開催のサッカーのワールドカップまではひょっとしたら凌げるかもしれないが、更に資源価格が下落すると思われる 2016 年のリオオリンピックは、無い袖は振れぬの格言通り、開催中止となる公算はかなり高いと思われる。

10 月 7 日の TV ニュースの中で、ロシアのソチで来年 2 月 7 日に開幕する冬季オリンピックの聖火が、6 日ギリシャから特別機でモスクワに到着し、「赤の広場」でプーチン大統領が誇らしげにトーチに点火し、隣接するクレムリンの敷地をロシアのメダリスト達が周回したが、2 人目の走者の際にトーチの火が突然消え、関係者がライターでトーチに再点火する映像に私は思わず吹き出し、ソチオリンピックの将来をも危惧せざるを得ない心境になった。



例会優り

第 718 回例会
 つちや (主計町)
 10/31 (木) 19:00
 出席率 23/37 62.16 %
 8 月修正出席率 70.76%



武藤清秀 SAA : 土家 (つちや) の再生活用について。大正 5 年浅野川に面した主計町表通りに建てられたお茶屋です。平成 20 年 7 月 28 日の浅野川の氾濫で床上浸水し、その後空き家になっていましたが、この度修復しました。(むとう設計有限会社)



開会 (太鼓)

会長挨拶

今日は素敵なお客様に沢山来ていただきました。今日は主計町「土屋」に会場を変更しての例会です。主計町茶屋街は、ひがし茶屋街、西茶屋街と並ぶ金沢 3 茶屋街の一つで、浅野川沿いには料亭の建物が立ち並んでいますが、一歩裏道に入ると狭い路地と千本格子の庶民向け遊郭跡が残存しています。本日は少しでも茶屋文化に触れていただければ幸いです。



本日のお客様をご紹介します。第 2680 地区パストガバナー久野薫・正子夫妻 (神戸東 RC)、第 2670 地区パストガバナー美馬精一・嘉子夫妻 (鴨島 RC)、富山西 RC 泉会長を初め、14 名の皆様です。

本日、富山西 RC の皆様に来ていただきましたのが、昨年度中尾ガバナーの時、木場さんがガバナー補佐を務められた繋がりにより 4 月 4 日、松川の桜の満開の時に 10 名でメーキャップをいたしました。その時同じ地区内での交流を年に一回交互に深めることになり、今日に至りました。それでは茶屋文化に触れていただき交流を深めていただきたいと思います。

ゲスト・ビジターご紹介 (卓話者) 第 2680 地区パストガバナー 久野 薫 様 (神戸東 RC) 令夫人 正子 様



(ビジター) 第 2670 地区パストガバナー 美馬 精一様 (鴨島 RC) 令夫人 嘉子様
 富山西ロータリークラブ会員様 14 名

会長 泉 貞夫様 幹事 坂本 博志様 会長エレクト 高柳 美徳様

副幹事 旭 哲也様 副会長 柞山 学様

(国際奉仕委員) 井本 正樹様 (クラブ運営副委員長) 五十嵐 靖郎様

(会員副委員長) 桑名 寿之様 (クラブ運営委員) 須藤 信夫様

(クラブ運営委員) 樋口 俊幸様 (SAA) 廣澤 勲様

(クラブ運営委員長) 牧野 了久様 (広報委員) 宮本 良樹様

(国際奉仕委員長) 柳原 春秋様

(ゲスト) 割烹つづみ (加賀屋グループ) 女将 長谷川 明子 様



美馬様、ご挨拶： 第 2670 地区は四国 4 県のロータリーのパストガバナーで炭谷亮一 PG と同期でまいりました。
 富山西 RC 泉会長： ご挨拶： 地区内ののクラブの友好も 1 年ごとに場所を変えて交流したくおもいます。



幹事・委員会報告

上杉輝子幹事： 久野 薫に 様神戸東 RC のパナーをいただきました。又今晚のは加賀屋つづみのお弁当です。
 金沂秀会員組織委員長： 今日もおねがいします。良い人を会員に御紹介下さい。



ニコニコBOX ¥41,000- 本年度 ¥256,000- 残高 ¥5,024,307



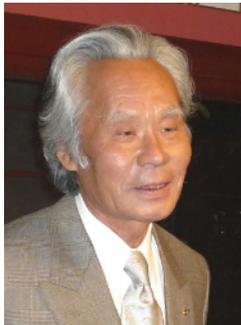
久野様ご夫妻：ご挨拶。美馬様：ご挨拶。 富山西 RC 一同：楽しい交流の場を企画していただきありがとうございます。本日はお世話になります。 野城会長・上杉幹事：久野様、美馬様、泉会長初め会員の皆様、ようこそおいでいただきましてありがとうございます。これからもうしくお願いします。 石丸会員：久野先生、美馬先生ようこそ。富山西 RC の皆様本当によくいらっしゃいました。今後とも宜しく願いいたします。 岩倉会員：久野・美馬パストガバナーご夫妻並びに泉会長初め 14 名もの富山西クラブの皆様ようこそ。 北山会員：久野様ようこそ。美馬様ようこそ。富山西 RC の皆様ようこそ。今宵は大いに楽しんで下さい。 木場会員：富山西ロータリーの皆様、ようこそ！ 炭谷会員：久野先生、美馬先生、本当に今日は遠方からご苦労様です。金沢の滞在をエンジョイして下さい。富山西 RC の皆様、今夜は楽しくやりましょう。 藤間会員：皆様ようこそ。今日は楽しんでいただければ幸いです。

講話の時間

「ロータリーのこころ」

第 2680 地区パストガバナー 久野 薫 様

紹介



炭谷亮一パストガバナー

略歴： 久野 薫 (くの かおる) 2011 ~ 12 年度 第 2680 地区パストガバナー

生年月日 1941 年 8 月 2 日 (72 歳)

最終学歴 京都大学医学部医学科医学専門課程卒業後

京都大学大学院医学研究科博士課程修了 京都大学医学博士

専門 免疫血液学内科

職歴 京都大学医学部附属病院 神戸市立市民病院勤務を経て

久野病院副院長、院長、理事長を経て現在 医療法人社団、久野病院会長

1975 年 10 月 ~ 1978 年 3 月まで英国王立医学研究所 (ロンドン) 留学 研究テーマ「免疫

反応の分子生物学的研究」

ロータリー歴

- 1988 年
- 1999 年
- 2005 年

- 国際ロータリー第 2680 地区、神戸東 RC 入会
- クラブ幹事
- クラブ会長



講話：久野 薫パストガバナーはその豊富なロータリーの経験と知識で「ロータリーのこころ」についてはなされた。原稿頂いただきました。(後述 参照)

藤舎真衣さんによる横笛演奏「月」「鶴」
 <食事・歓談>

アトラクション 芸妓さん
 富山西 RC 泉会長による山中節





閉会

後記：一朝一番で富山西RC事務局の方からお礼の電話があり、皆さんとても喜んでおられたとのこと。

(村田先生からのご案内)

皆さまへ 表題について宣伝させていただきます。

.....
演題「こどもと低線量被ばく」 講師 金沢大学小児科学教授 谷内江昭宏先生

とき：11月24日（日）午後2時～4時

ばしょ：金沢市異業種会館 2F 金沢市打木町東1400番地

石川県保険医協会 主催

関心のあるかははどなたでも 定員140名 無料 参加ご希望の方はFAX067-231-5156までお申し込み
ください。託児ご希望の方は人数、年齢などを一緒にお知らせください。

.....
以下抄録その他の詳しい情報が載っています。 <http://ishikawahokeni.jp/event/genpatu1124.pdf>

ゲスト紹介 追加

美馬 精一様 (みま せいいち) 2011～12年度 第2670地区パストガバナー

生年月日 1943年4月13日生 職業分類 私立病院（整形外科医）

現住所 徳島県吉野川市鴨島町上下島357-1

趣味 ゴルフ サッカー

最終学歴 1969年 3月 徳島大学医学部卒業

職歴 1976年 1月 医療法人青鳳会美摩病院勤務（病院長） 1995年 8月 翠鳳第一病院勤務
（病院長） 2007年 2月 医療法人青鳳会会長就任 2007年 3月 医療法人翠鳳会理事長就任

ロータリー歴 1976年 鴨島ロータリークラブ入会

1983～1984年度 鴨島ロータリークラブ幹事 1987～1988年度 鴨島ロータリークラブ会長

講話

-----ロータリーのこころ-----

2013.10.31 第718回例会

RID2680 PDG

久野 薫

金沢百万石ロータリークラブの皆さん今晚は。同期のガバナーであります炭谷先生とのご縁で皆さん方とこうやって親しくお話をさせていただくことを光栄に思っております。おまけにこれまた同期のガバナーであります第2670地区の美馬先生まで応援に駆けつけてくれました。プレッシャーを感じますとともに感謝申し上げます。加賀100万石のお膝元、その名も百万石の名を冠する当クラブでございます。国内にこれほどゴージャスな名前を冠するクラブはないのではないかと思います。それに金沢百万石 RC には 30%以上の女性会員がおられるそうです。例会は非常に華やかな雰囲気でございます。

皆さん方のクラブは1998年4月の創立と伺っております。当時のRI会長はグレン・W・キンロス氏(豪州)でありました。氏のRI会長テーマは「ロータリーの心を」でありましたので本日の卓話の演題を「ロータリーのこころ」とさせていただいた次第であります。ただキンロス氏のテーマの「心は」「Show Rotary Cares」の「Cares」（心遣い）であります私がお話する「こころ」は「E-thos of Rotary」つまり「精神的支柱」といった意味合いであります。

私たちに心があるようにロータリーにも心があります。私たちにとって心が大切なように、ロータリーの心も大切であります。「ロータリーのこころ」と申しましても特別な心があるわけではありません。私たちの誰もが持っている心と何ら変わりはありません。私たちがガバナーを勤めた年度のRI会長はインドのカルヤン・バネルジー氏でした。そのRI会長テーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」でありました。つまりカルヤンさんは人間のこころの中に博愛の心を見つけたのです。仏教では四つの量ることの出来ないひろい心という意味の「四無量心」つまり「慈悲喜捨」（他人をいつくしむひろい心、人

の悲しみをわが悲しみと受け止める心、幸せは我一人のものではなくすべての人の幸せがわが幸せとする心、人のために尽くしてもその見返りを求めない心)と表現されます。儒教では「仁」であり「寛恕」の心であります。キリスト教では「汝の欲せざるところ、人に施すなかれ」(黄金律)であります。皆同じものであります。ロータリーではこのところを「奉仕の理念「Ideal of Service」と表現されているのです。

1927年ベルギーのオステンドというところで開催されたRI世界大会におきましてロータリーの創設者であるポール・ハリスは「奉仕の理念は哲学ですから、万古不変のものであり、みだりに変えるべきものではありません。というよりも絶変にはなりません。しかし、奉仕活動の実践は社会のニーズに従って大胆に変化させなければ、だれからも頼りにされないばかりか相手にされません・・・」という有名な挨拶を残しております。

もともと「Service」という言葉には多分に宗教的意味合いがあります。自己を否定、犠牲にしてこの宇宙を支配する神の秩序体系に帰依するというのであります。神という言葉の変わりに自然の摂理、理と表現することもできます。

私たちは自然の摂理に逆らって生きることは出来ないのです。ロータリーの創設者ポール・ハリスは「ロータリーは宗教でもなければ宗教に変わるべき何かでもない、それはただ古くからある道徳観を現代生活、とりわけ職業生活において実践しようとするものなのだ」と語っております。

更にポールハリスは「Rational Rotarianism」(1911.1.26.The National Rotarian 誌,現在の The Rotarian 誌の前身で発表)という論文の中で「ロータリーのところ」一言の元に表現しております。其れは「寛容」であります。最近RIで強調されている「中核となる価値観」つまり「親睦、奉仕、多様性、高潔性、リーダーシップ」は「寛容」の一語で言い換えることができます。つまりロータリーのところとは特別のものではなく極当たり前の単純なものなのです。そしてロータリーとは「物事の課程、プロセスの最初にこの寛容の心を置く事」を目的とした組織なのです。またロータリーはそのような自然界の摂理に従って生きる人間、寛容の心を持つ人を育てる「人づくり」の組織なのです。

ロータリーはこの「人づくり」を可能にするためにいくつかの原理原則をつくりました。①ロータリーの中心概念②個人倫理③組織原理④実践原理であります。この総体がロータリーという組織を定義づけるものであります。

「ロータリーの中心概念」は「親睦と奉仕」であります。奉仕を実践するためのきっかけを、親睦においたのです。親睦が奉仕の二元論的なものではなく親睦と奉仕は表裏一体のものでなければなりません。これをポール・ハリスは「ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る」と語っております。

「個人倫理」は1915年第6回サンフランシスコ国際年次大会で採択された「ロータリーの道徳律(Rotary Code of Ethics)をもつて具体的に成文化されました。その骨子は①高い職業倫理②職業に貴賤なし③天職④黄金律であります。しかしこれはあまりにも厳格、宗教的であるの故を持って1980年廃止され、現在は1989年規定審議会採択の「ロータリアンの職業宣言」によって取って代わられております。

組織原理は親睦を達成するための原則として「一業種一人の限定会員制度」「定期的な例会出席」の義務、「職業奉仕のアイデアの交換のための卓話」の重視、「職業上の相互扶助」を大切なものと規定しました。とりわけ「限定会員制度」「出席の義務」を柱としたものであります。この組織原理は1922年RI誕生時には確立されておりました。しかしこの原則もRIの「職業分類表」の基準、いわゆる赤本(Guide to Classification, Outline of Classification)を1968年に放棄し職業分類表の内訳は各クラブに委託されて今日あります。このころから出席義務規定も1995年規定審議会での前後2週間のメークアップ制度緩和、1998年出席義務規定免除会員制度、理事会指定の奉仕活動参加を持ってメークアップとする制度、2010年の規定審議会での50%出席制度等で失われてきているのです。職業分類は2001年の規定審議会における10%ルール採択で崩れ去りました。

「実践原理」は1923年セントルイス世界大会で採択された「決議23-34号」を持って具体的に成文化されました。ここにうたわれている原則は「利己と利他の調和」と「理論と実践の調和」であります。つまりロータリーとは先ほどの「親睦と奉仕の調和」といい「利己と利他の調和」といい「理論と実践の調和」といい「閑柄の美学」を追求する組織であると定義づけられるのです。

しかしこの決議も2007年11月のRI理事会で元RI理事ビル・サージャント、当時の事務総長エド・フタ氏の提案で「決議23-34号不要論」が提出され否決されたいきさつがあります。現在かろうじて1992年規定審議会採択された「決議92-286」と併記の形で社会奉仕に関する声明として手続要覧に記載されております。

我々日本のロータリアンが大切にしてきた「He profits most who service best」(最も良く奉仕する者 最も多く報われる)のシェルドンの標語は1911年のポートランド世界大会でコリンズの「Service, not self」と共に非公式の標語として全米ロータリークラブ連合会に採用されました。シェルドンの標語は1921年のエディンバラ世界大会で感動を持って迎えられ、1950年デトロイト世界大会ではRIの第一標語に選ばれたのです。それなのに1988年には「超私の奉仕」に次ぐ第二の標語に格下げされ、1989年女性会員の人会許可を機に以後主にHeというジェンダー用語を

ぐって幾多の改革案が出され 2010 年規定審議会での He を One に変更する形で現在に至っているのです。

このように観てきますと「ロータリーのこころ」を育む原理原則はロータリー誕生の 1905 年から 1930 年ころまでの四半世紀間に完成されたのに 1968 年ころから失われて来ていると言えます。1962 年 RI 理事会は「世界社会奉仕」プロジェクトを採択し、また 1966 年～ 67 年度 RI 理事会は 1929 年のダラスの世界大会で採択されたクラブの財政的援助に関する制限事項をこのプロジェクトに限り適用しないという特別決議までしました。それからは世界社会奉仕プロジェクトが RI 財団の主要な事業になりました。そして今日の財団の「未来の夢計画」の六つの重点分野における人道的奉仕活動に通じる道となったのです。

2004 年当時まだ RI 副会長であったグレン・エステス氏は「ロータリーは世界最大の NGO 法人」と言つてのけたのです。

かくして現在、ロータリーのこころはしぼんできております。人間の心が幼少期に形つくられるように、ロータリーの心も 1905 年から 1930 年という四半世紀の間に形つくられたのです。そして人間の心もロータリーの心も時代、環境の変化によって変化していくのです。今やロータリーは「人づくり組織」から「NGO 法人」へとまっしぐらなのです。

オバマ大統領は富めるものがほしいままに富を得ることが、社会の貧者の底上げに通じるというフリードマンのあやまちを指摘し、心の糧をほしいままにする事こそが社会あるいは世界を確実に底上げするとかたりました。国際ロータリーは一人でも施主の多からんことを望み、一ドルでもお布施を増やし限りなく永遠に金を注ぎ込んでいかなければならないという火の車から降りられなくなっているのです。

1989 年～ 90 年度 RI 会長ヒュー・アーチャー氏は警告するように「ロータリーはスケールの大きいものから力を得るでしょうか」と述べております。もって肝に銘ずべきであります。

最後に RI の最近の動向について少しお話をいたします。先日東京で「地区研修リーダーのための研修セミナーが開催されました。話題は三つありました。

RI の動向、会員増強問題、CLP 制度化で設けられたクラブ研修リーダーの在り方でした。本日は RI の動向のみをお話いたします。現 RI 理事の松官氏の話です。RI はいま統一的で信頼できる組織イメージ作りをしようとしております。RI のブランド化であります。RI のロータリーに対する認識は「人道的奉仕活動のための世界的なネットワーク」であります。日本のロータリーに対する認識は「成熟した職業人による、職業を通じて地域社会に貢献する組織」という認識とは乖離してきております。しかし日本の考え、立場を主張するには日本人の RI 理事の発言力が最近低下してきているという悩みを語られました。理由はもちろん言葉のハンディキャップもありますが、会員数の減少、RI 財団への寄付額が以前ほどではなくなったことが発言力を低下させているのだと思います。

「Rotary rest in Peace」 「平和と繁栄の中に潜む危機から目をそむけてはいけません。心をなくした死せるロータリーであってはなりません。私たちは「ロータリーのこころ」を確立したアノ輝かしい 20 世紀前半に回帰できるかが今問われているのです。

会員消息

稲山訓央会員：テレビ出演しました 11/5 (火) 9:55-10:55 石川テレビリフレッシュ！

カトマンズのソバナ宅へ 武藤清秀



百万石 RC が担当した米山学友であるソバナさんと、ネパールでお会いしてきました。目的地はブータンでしたが、一緒に行った G 氏からの希望で、帰りにカトマンズに寄ることにしたのです。

自宅はカトマンズの南の地域にあり、傾斜地を利用した 70 軒で構成するコロニーの中にあつた。3 階建ての屋上テラスからは、天気次第でヒマラヤが見えます。

5 月に生まれた長男は伝 (デン) 君という名で、ご夫妻の日本での経験などいろいろなことを伝えていって欲しいとの思いが込められているそうです。とても元気な赤ちゃんでした。

昼は育児休暇をとっているご主人ディーパックさんの案内で市内見物をし、夜はお母さんが作ったという美味しいロキシー (ネパールの焼酎) を頂きながら積もる話を楽しみ、ご好意に甘えて 3 階の空き部屋に図々しく 2 泊泊してもらいました。ソバナさんからは、金沢での百万石 RC の皆さんのお世話に対し深い感謝の言葉があり、よろしくお伝え下さいとのことでした。

写真の説明：・ブータンからネパールへ行く機中から、ヒマラヤ山脈を見る。中央の三角がエベレストです。

・左から、旦那さんのディーパックさん、ソバナさん、デン君